

新町の誕生まで

開基と分村

- | | |
|--------------|----------------------------------|
| 寛政12年(1800年) | 和人牧士・村田卯五郎の移住をもって旧虻田町の開基とする。 |
| 明治20年(1887年) | 三橋政之率いる香川県からの集団移住をもって旧洞爺村の開基とする。 |
| 明治15年(1882年) | 虻田郡各村戸長役場設置。 |
| 大正9年(1920年) | 洞爺村が虻田村から分村。 |
| 昭和13年(1938年) | 虻田町誕生(一級町村制指定)。 |

合併までの経緯

- | | |
|--------------|--|
| 平成15年(2003年) | 虻田・豊浦・洞爺3町村が3月、西胆振3町村合併問題研究会を発足。10月には豊浦町・虻田町・洞爺村任意合併協議会発足。 |
| 平成16年(2004年) | 豊浦町・虻田町・洞爺村法定合併協議会が6月、発足。 |
| 平成17年(2005年) | 豊浦町、虻田町で2月27日、合併の是非を問う住民投票実施。虻田町では賛成、豊浦町では反対が多数となり、豊浦町が合併協議会を離脱する。3月には洞爺村が合併に関する住民意志確認調査を実施し、賛成が多数となる。 |
| 平成18年(2006年) | 3月27日、虻田町と洞爺村が合併調印し、洞爺湖町誕生(庁舎は平成15年建設の旧虻田町庁舎)。 |



1



2



3



4



5

1. 第1次香川移住団(明治21年)
2. 長輪線開通(昭和3年9月10日)
3. 床丹(洞爺湖)温泉全景(昭和初期)
4. 三樹亭にて(昭和初期)
5. 一級町村施行第1回村会記念(昭和13年)